

平成25年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社メディサイエンスプランニング

コード番号 2182 URL <http://www.mpi-cro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 浦江 明憲

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部副本部長 兼経理部長 (氏名) 瓦谷 純一

TEL 03-5820-7071

四半期報告書提出予定日 平成25年4月11日

配当支払開始予定日

平成25年5月20日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第2四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第2四半期	3,740	△7.8	143	△77.6	134	△77.9	70	△77.3
24年8月期第2四半期	4,058	26.1	639	356.5	607	236.1	312	208.9

(注) 包括利益 25年8月期第2四半期 70百万円 (△77.4%) 24年8月期第2四半期 313百万円 (209.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第2四半期	27.66	—
24年8月期第2四半期	120.43	—

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第2四半期	4,103	1,729	42.1
24年8月期	3,961	1,825	46.1

(参考) 自己資本 25年8月期第2四半期 1,729百万円 24年8月期 1,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	20.00	—	20.00	40.00
25年8月期	—	20.00	—	—	—
25年8月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	14.7	1,080	37.6	1,047	45.4	614	77.7	236.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年8月期2Q	2,597,600 株	24年8月期	2,597,600 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年8月期2Q	50,000 株	24年8月期	— 株
----------	----------	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年8月期2Q	2,565,556 株	24年8月期2Q	2,597,600 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、予想した数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
4. 補足情報	11
(1) 受注実績	11
(2) 販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や輸出環境の改善、政権交代による経済対策の効果等による景気回復に期待が持たれ、下げ止まりの兆しが見られるものの、依然として不透明な状況が続いております。

医薬品業界におきましては、薬価基準の引き下げや主力製品の特許切れに加え、新薬の承認基準の厳格化や医療制度の見直しが進む等、厳しい事業環境が継続しております。こうした中で、製薬会社はパイプラインの充実や経営資源の集中による迅速な新薬開発力の強化を進めております。当社グループの属するCRO業界及びCSO業界におきましては、製薬会社のアウトソーシング志向を背景として市場規模は緩やかに拡大を続けております。近年、既存企業の規模拡大やM&Aによる業界再編が進んだ結果、CRO各社の競争は激化しておりますが、受注環境は改善しております。

このような環境のもと、当社グループは、今期（第31期）を最終年度とし、「強い組織の育成」、「明確な差別化」、「次世代に向けての準備」を柱とする中期経営計画「アクションプラン30 plus one」を推進しております。また、当社とエムスリー株式会社及び株式会社MICメディカルとの資本・業務提携は、3社のリソース及びノウハウを活かした受注面での協力や人的リソースを相互に交流する等、着実に成果を上げつつあります。

当第2四半期連結累計期間につきましては、前連結会計年度末にプロジェクトの切り替えが複数発生したこと及び切り替え後のプロジェクトの開始が一部中止及び遅延したこと等の影響により、高稼働であった前年同期に比べ、若干稼働率が低下しましたが、足下の状況は改善しつつあります。また、開始直後の案件が例年に比べ多く、売上に対しコストが先行する形となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,740,935千円（前年同期比7.8%減）、営業利益143,258千円（同77.6%減）、経常利益134,366千円（同77.9%減）、四半期純利益70,957千円（同77.3%減）となりました。

なお、当社グループは、前連結会計年度末においては、CRO事業の単一セグメントでありましたが、第1四半期連結会計期間よりセグメント区分を見直し、従来の単一セグメントから「CRO事業」、「CSO事業」に変更しており、前年同期比較に当たっては、前年同期を変更後の区分に組み替えて行っております。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

① CRO事業

当事業におきましては、主力のモニタリング業務において、良好な受注環境を反映して受注が順調に推移し、それに伴い受注残高が大幅に増加した一方、上記のとおり、複数のプロジェクトの切り替えに際し、切り替え後のプロジェクトの開始が一部中止及び遅延したこと等の影響により、売上高は3,271,372千円（前年同期比9.4%減）、営業利益は601,579千円（前年同期比44.7%減）となりました。

② CSO事業

当事業におきましては、積極的な営業活動により、売上高は469,563千円（前年同期比4.7%増）となりましたが、新規案件準備のための人員確保に伴う経費増加により、営業利益は24,511千円（前年同期比32.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ530,872千円減少し、2,752,279千円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金の増加121,976千円があった一方で、現金及び預金の減少755,193千円等があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ673,117千円増加し、1,350,989千円となりました。これは、主として関係会社株式の増加656,586千円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ142,245千円増加し、4,103,269千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ45,697千円減少し、1,295,733千円となりました。これは、主として前受金の増加70,767千円があった一方で、未払法人税等の減少154,538千円等があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ283,808千円増加し、1,077,730千円となりました。これは、主として長期借入金の増加255,000千円及び退職給付引当金の増加19,392千円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ238,110千円増加し、2,373,463千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ95,865千円減少し、1,729,805千円となりました。これは、主として四半期純利益70,957千円を計上した一方で、剰余金の配当51,952千円及び自己株式の取得115,500千円等があったことによるものであります。

② キャッシュフローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローでは222,990千円の支出（前年同期は371,062千円の収入）となりました。これは、主として税金等調整前四半期純利益の減少や売上債権の増加による支出等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローでは718,625千円の支出（前年同期比5,460.5%増）となりました。これは、主として関係会社株式の取得による支出等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローでは187,188千円の収入（前年同期比218.6%増）となりました。これは、自己株式の取得による支出等があった一方で、長期借入れによる収入があったことによるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末と比べ755,193千円減少し、850,079千円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年10月12日の「平成24年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,605,272	850,079
受取手形及び売掛金	1,008,339	1,130,316
仕掛品	396,486	437,801
貯蔵品	625	489
その他	272,427	333,593
流動資産合計	3,283,152	2,752,279
固定資産		
有形固定資産	81,428	110,400
無形固定資産		
のれん	73,945	56,395
その他	47,042	40,682
無形固定資産合計	120,987	97,078
投資その他の資産		
関係会社株式	102,484	759,070
その他	372,971	384,440
投資その他の資産合計	475,455	1,143,510
固定資産合計	677,871	1,350,989
資産合計	3,961,023	4,103,269
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	224,406	69,867
賞与引当金	261,156	253,357
受注損失引当金	631	23,937
その他	855,235	948,570
流動負債合計	1,341,430	1,295,733
固定負債		
長期借入金	415,000	670,000
退職給付引当金	299,626	319,019
役員退職慰労引当金	53,241	61,223
その他	26,054	27,487
固定負債合計	793,922	1,077,730
負債合計	2,135,352	2,373,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	361,520	361,520
資本剰余金	261,081	261,081
利益剰余金	1,203,030	1,222,035
自己株式	—	△115,500
株主資本合計	1,825,631	1,729,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	—
その他の包括利益累計額合計	39	—
新株予約権	—	669
純資産合計	1,825,670	1,729,805
負債純資産合計	3,961,023	4,103,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
売上高	4,058,096	3,740,935
売上原価	2,786,889	2,929,527
売上総利益	1,271,207	811,408
販売費及び一般管理費	631,460	668,149
営業利益	639,747	143,258
営業外収益		
受取利息	91	17
為替差益	—	1,421
その他	68	294
営業外収益合計	160	1,734
営業外費用		
支払利息	4,470	4,374
持分法による投資損失	26,470	5,882
その他	1,753	370
営業外費用合計	32,694	10,627
経常利益	607,212	134,366
特別損失		
リース解約損	—	994
特別損失合計	—	994
税金等調整前四半期純利益	607,212	133,371
法人税等	294,385	62,414
少数株主損益調整前四半期純利益	312,827	70,957
四半期純利益	312,827	70,957

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	312,827	70,957
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	640	△39
その他の包括利益合計	640	△39
四半期包括利益	313,467	70,917
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	313,467	70,917
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	607,212	133,371
減価償却費	24,827	22,759
のれん償却額	17,550	17,550
賞与引当金の増減額(△は減少)	41,189	△7,799
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△82,453	7,982
退職給付引当金の増減額(△は減少)	27,778	19,392
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	23,306
受取利息及び受取配当金	△91	△17
支払利息	4,470	4,374
売上債権の増減額(△は増加)	1,797	△121,976
たな卸資産の増減額(△は増加)	△107,736	△41,178
立替金の増減額(△は増加)	26,481	△57,858
前受金の増減額(△は減少)	43,390	70,767
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,380	△52,002
預り金の増減額(△は減少)	23,574	△33,136
その他	35,533	8,634
小計	654,144	△5,832
利息及び配当金の受取額	91	17
利息の支払額	△4,251	△4,127
法人税等の支払額	△278,922	△213,047
営業活動によるキャッシュ・フロー	371,062	△222,990
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,361	△43,243
無形固定資産の取得による支出	△9,217	△1,560
関係会社株式の取得による支出	—	△662,508
敷金及び保証金の差入による支出	△1,952	△11,684
その他	1,607	372
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,923	△718,625
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△102,004	△145,000
自己株式の取得による支出	—	△115,500
配当金の支払額	△38,897	△51,963
リース債務の返済による支出	△348	△348
財務活動によるキャッシュ・フロー	58,750	187,188
現金及び現金同等物に係る換算差額	△183	△766
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	416,705	△755,193
現金及び現金同等物の期首残高	1,158,613	1,605,272
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,575,318	850,079

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年10月30日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき自己株式を取得することを決議し、当該取得を実施いたしました。

取得した株式の種類	普通株式
取得した株式の総数	50,000株
取得価額の総額	115,500千円
取得日(約定日)	平成24年10月31日
取得方法	大阪証券取引所の立会外取引(J-NET市場)における自己株式取得取引

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年2月29日)

当社グループは、CRO事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年2月28日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	CRO事業	CSO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,271,372	469,563	3,740,935	—	3,740,935
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,271,372	469,563	3,740,935	—	3,740,935
セグメント利益	601,579	24,511	626,091	△482,832	143,258

(注) 1 セグメント利益の調整額△482,832千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度末においては、CRO事業の単一セグメントでありましたが、第1四半期連結会計期間よりセグメント情報の区分を見直し、従来の単一セグメントから「CRO事業」、「CSO事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間における報告セグメントに基づき作成すると次のとおりになります。

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	CRO事業	CSO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,609,453	448,642	4,058,096	—	4,058,096
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,609,453	448,642	4,058,096	—	4,058,096
セグメント利益	1,088,611	36,386	1,124,998	△485,251	639,747

(注) 1 セグメント利益の調整額△485,251千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注実績

事業の業務別の内容	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)			
	受注高(千円)	前年同期比 (%)	受注残高(千円)	前年同期比 (%)
CRO事業				
モニタリング業務	4,285,652	137.9	8,087,684	152.2
データマネジメント業務	183,604	68.4	420,395	95.1
ファーマコヴィジランス業務	308,008	80.3	135,263	85.6
その他業務	28,448	36.7	46,134	58.2
CRO事業計	4,805,714	125.2	8,689,478	145.0
CSO事業	441,436	72.9	604,841	105.0
合計	5,247,150	118.1	9,294,320	141.5

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

事業の業務別の内容	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
CRO事業		
モニタリング業務	2,726,988	88.3
データマネジメント業務	165,687	114.6
ファーマコヴィジランス業務	316,167	101.4
その他業務	62,528	97.2
CRO事業計	3,271,372	90.6
CSO事業	469,563	104.7
合計	3,740,935	92.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(ご参考)

当社は、現在、契約締結済みの案件のみを受注高及び受注残高として計上しておりますが、次期以降、より実態に即した受注の状況を示すことを目的に、計上基準を変更し、従来の計上基準に発注書受領済み案件等を加えた計上方法に変更する予定であります。

変更後の計上方法により算定した、当第2四半期連結累計期間における受注高及び受注残高は、以下のとおりであります。

事業の業務別の内容	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)	
	受注高(千円)	受注残高(千円)
CRO事業		
モニタリング業務	6,002,293	9,804,326
データマネジメント業務	183,604	420,395
ファーマコヴィジランス業務	582,346	409,601
その他業務	28,448	46,134
CRO事業計	6,796,693	10,680,458
CSO事業	441,436	604,841
合計	7,238,130	11,285,300

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。